

。学校経営全般にわたり、教育目標具現のための具体的計画を立て実践する。

。教職員の士気を高め、組織を生かし、協力して経営に当たる。

二 教育課程の改善・充実に努める

。学校の主体性を確立し、地域・学校・児童生徒の実態に即し、教師の創意を結集して教育課程を編成、実施する。

。実施状況を常時反省、評価し、教育課程の改善を進める。

。「創意を生かした教育活動の時間」の内容・運営を改善する。特に特別活動とのかかわりについて明確にする。

。小学校低学年における合科的指導を積極的に推進し、その指導計画の改善を図る。

。中学校における選択教科の履修については、内容・指導方法・評価について吟味する。

三 学習指導の質的な改善・充実に努める

。教材の精選・重点化を図り、学習指導にゆとりを持たせる。

。基礎的・基本的な知識、技能、態度を確実に身につけさせるよう努める。

。自ら考え正しく判断する能力、

創造的な能力、主体的に学習する能力を育成するため、指導計画及び指導方法の改善を図る。

。教材教具の適切な使用、学校図書館の効果的利用を工夫する。

。学習指導の評価に当たっては、指導と評価の一体化を図るよう評価方法を工夫する。

四 道徳教育の充実に努める

五 特別活動の充実に努める

六 生徒指導の充実に努める

七 へき地・小規模校の教育の充実に努める

(以上「各教科指導の重点」参照)

八 体育、保健・安全の指導を充実する

。学校教育全体を通じ体力の向上を図る。

。生命尊重を基盤とし、保健・安全の指導を徹底する。

九 教職員研修の効率的推進に努める

。日常の教育活動と直結した研修活動を推進する。

。個人研修を充実し、それを基盤とする共同研修を積極的に進める。

。授業研究を効果的に推進する。
。児童生徒の人間像を全体としてとらえ、その全人的な指導のあり方の研究を推進する。
次に、各教科等の指導の重点を掲げる。

国語

小学校

国語を正確に理解し表現する能力を養うとともに、国語に対する関心を深め、言語感覚を養い、国語を尊重する態度を育てるため、特に次の点に努力する。

なお、指導計画の作成及びその展開に当たっては、言語の教育としての立場を一層明確にするともに、表現力を高めるよう十分配慮する。

また、学校生活全体における言語環境を整え、児童の言語活動が適正に行われるよう努める。

一 国語科における基礎的な能力を高めるよう指導を工夫する

(一) 言語事項の指導を一層重視し、指導計画や指導過程への位置づけを明確にして指導する。

また、児童の実態に即して繰り返し学習することが必要なものについて、特にそれだけを取り上げて指導することを考慮するなどして、基礎的な能力が、系統的にしかも確実に身につくよう指導を工夫する。

(二) 書写の指導に当たっては、硬筆・毛筆の関連を重視して指導計画を再検討する。

また、国語科書写の立場を明確にして、字形、筆順、点画、文字の大きさ・配列等の基礎的スキルを高めるよう工夫するとともに、指導のねらいに照らした具体的な評価によって望ましい態度、習慣を養うようにする。

二 作文の指導を計画的に行い、文章表現力の向上を図る

(一) 作文を主とする指導計画を作成し作文の時数を確保する。

その際、各学年の目標や指導事項を十分検討し計画する。

(二) 表現活動をおして、児童の思考力を高め、感受性を豊かにすることができるよう指導を工夫する。

(三) 実際に書く活動に充てる時間を十分に確保し、書く活動をおして表現力をつけるよう考慮する。

(四) 一人一人の文章表現力を確実に高めるため、児童の実態を的確に把握し、指導の目標を明確にして指導に当たる。